



写真2



写真1

- 試験内容は、モウソウチク伐根に穴を開け、
- ① 穴開けのみ
 - ② 穴に融雪剤100g投入のみ
 - ③ 同一00g投入一ヶ月後、同量を再投入
 - ④ 同一00g投入二ヶ月後、同量を再投入
 - ⑤ 無処理の5区を設定。結果等は、随時報告します。

モウソウチク伐根に穴開け枯らす 竹林の整備に向けて

（ここ数年、里山ではモウソウチクによる近隣土地への侵入被害が増加傾向にあり、四国森林管理局へも「何か良い対策はないか」との要望が寄せられています。

林野庁では、放置竹林の解消に向けて「竹林管理・竹材利用に関する検討会」を設置し、対策を進めています。

このような中、森林技術・支援センター、技術普及課では、高知県立森林技術センター（香美郡土佐山田町）の敷地内（写真1）にあるモウソウチク林を共同試験地（約002ha）に設定、昨年二月五日に伐採。三月一日、試験内容別に処理。（写真2）

4. 1 付

よろしくお願ひいたします。

技術普及課長を拝命しました中川 勝博（前林野庁 国有林野部 業務課企画官（間伐推進担当））です。よろしくお願ひします。

森林整備部企画官（自然再生担当）を拝命しました藤丸 功（前森林整備部上席自然再生指導官（四万十川森林ふれあい推進センター所長））です。よろしくお願ひします。

技術普及課 課長補佐を拝命しました森田 裕一（前企画調整課 企画官（情報システム管理担当））です。よろしくお願ひします。

4. 1 付

お世話になりました。

林野庁 国有林野部 業務課企画官（森林整備担当）に異動しました。技術普及課長としての1年間、お世話になりました。ありがとうございました。（鶴山 道弘）

森林技術・支援センター所長に異動しました。局森林整備部 企画官（自然再生担当）としての3年間、お世話になりました。ありがとうございました。（山崎 忠男）

経理課 課長補佐に異動しました。技術普及課 課長補佐としての2年間、お世話になりました。ありがとうございました。（西本 義夫）

27 四国森林・林業研究発表会

- ・ 検討している 課題名
 - ・ 課題の概要について
- 「平成二十七年度 四国森林・林業研究発表会」について「事務連絡」(三月一七日付)により、各署等へ送付しています。
- 四月三十日まで報告願ひします。

編集後記

4月 少しずつ暖くなりました。春眠暁を覚えず。毎日の体調に留意を。今年度もよろしくお願ひします。